

映画「人生フルーツ」

雑木林に囲まれ自給自足に近い生活を営む建築家の津端修一(90歳)氏と、妻の英子さん(87歳)の日常を追ったドキュメンタリー映画です。四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、英子さんの手で美味しいごちそうに変わります。

日々の生活を愛でる。お金に換え難い足元を大事にする暮らし。その繰り返しがメッセージにある

”人生は長く生きるほどより美しくなる”のだと心に響いていきます。二人の暮らしを通し、老いていくことは豊かな時を重ねていくことと感じさせてくれる映画です。ナレーションを務めるのは、女優の樹木希林さん。希林さんの言葉が言霊のように余韻を残していきます。

上映後お話し

【ときをためる暮らし～ふたりからひとりになった私のこと～】

どんなに愛する夫婦であっても、別れがあります。死別あとの生活をどのように営んでいくかについてのお話を、在宅看取りを経験された立見迪子さんから伺います。



立見迪子 絵本コンシェルジュ

絵、詩、哲学、絵本の世界を50年歩き、ギャラリーmu-anを主宰、アート制作の個展開催をしてきた。詩人谷川俊太郎と対談講演会などを行う。ヴィーガン、マクロビオテックを独学で学ぶ。夫ががんを患い在宅介護を実践し、5年前に在宅で看取りを経験する。人生の林住期を迎え、歩いてきた人生の道程からコーチとして活動開始。ブログ<https://micicokuma.hatenablog.com/> 詩画集『おもいがけない贈り物』（2001年刊行）新風舎



目黒区中小企業センターホール
〒153-0063東京都目黒区目黒2-4-36
目黒駅より徒歩12分
中目黒駅より徒歩17分

【街のイスキアでは、共に働いてくれる仲間を募集しています！】

当事業所は、主に高齢者の方のご自宅に伺い看護・リハビリテーションを行っています。街のイスキアではコツコツ、果実が熟していくように、日々の営みを大事にしながら、熟したケアができることを心がけています。

看護師・リハビリセラピスト・ケアマネージャーの資格をお持ちの方、人生を豊かに育む仕事を一緒にしていきませんか？
ご興味ある方はお気軽にご連絡ください。